

令和元年度第2回日進市障害者自立支援協議会議事要旨

日 時 令和元年11月18日(月) 午前10時～午後0時10分
 場 所 日進市中央福祉センター2階多機能室
 出席委員 平澤恵美、林和子、幸村朋子、浅井里美、木俣恵子、小林正信、
 澤田征治、河端祐子、興柁精視、田中美保乃、松島弘治、西川恵子、
 山本かおり、井上亘、山本健一、横山慎吾、梶浦慶子、巾和志、
 瀧本由美、川村享子、保竹さやか(敬称略)
 欠席委員 箕浦伸一、野澤宏之、(敬称略)
 アドバイザー 大谷真弘(尾張東部圏域地域アドバイザー)
 事務局 小塚多佳子(健康福祉部参事)、川本賀津三(地域福祉課長)、野村圭
 一(同係長)、杉田武史(介護福祉課長)、川邊雅巳(同課長補佐)、稲
 葉亮(同係長)、柏木晶(こども課長)、川上裕子(同係長)、須崎賢司
 (障害者福祉センター施設長)、梅村英子(障害者相談支援センター
 長)、西岡きくの(相談支援専門員)、山歩美(同)、橋本花実(相談員)、
 小島有希子(同)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有2名

議事事項等

1 あいさつ

2 尾張東部圏域状況報告について

3 議 事

第5期日進市障害福祉計画・第1期日進市障害児福祉計画の評価(平成30
 年度実績)について

4 その他

発言者	内 容
	1 あいさつ 2 資料確認 3 傍聴の有無の確認(申し出有り)
会 長	次第に沿って進行 アドバイザーより国・県・圏域の動向について情報提供を求める。
アドバイザー	4 尾張東部圏域状況報告について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国の動向</div> 厚労省の社会保障審議会障害者部会が10月25日開催。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">愛知県内動向</div> 自立支援協議会本会議が7月19日開催。 相談支援アドバイザー会議が7月11日開催。次回11月25日予定。

尾張東部障害福祉圏域会議が10月21日開催。

重点項目として、地域生活支援拠点、基幹相談支援センター、児童発達支援センターの整備について意見交換をしました。

愛知県障害福祉計画の進捗状況

1 福祉施設入所者の地域移行

県内の平成28年度末現在の入所者数は3,859名で、令和2年度末までに地域移行を希望する方は177名となっています。平成30年度までの地域移行実績は38名で、令和2年度までの目標は74名となっています。そのうち、尾張東部圏域は9名該当していますが、日進市は該当者なしです。他市町でヒアリングを実施したところ、本人の希望と周囲の関係者で地域移行が可能かどうかの見極めに乖離があります。

県では、入所者向けのリーフレットを作成し周知していきます。

・グループホームの世話人等確保支援事業

昨年度から知的障害者福祉協会に委託し実施。説明会や見学会を県内22か所で開催し、117名が参加し20名程度の採用がありました。

2 精神障害者の地域生活への移行

長期在院数の減少率が平成24年6月末から目標の半分になっています。医療と福祉を連携する研修の開催やピアサポーター養成研修が開催されました。

圏域の状況は、関係機関連絡会議の開催や保健所の取り組みで、地域移行ネットワーク会議を開催し、アンケートによる課題集約を実施し、ワーキングチームによるパンフレットの作成や研修会等を開催しました。

各市町村では、医療機関の訪問による連携構築やサロン等の集いの場の確保などを進めています。

3 地域生活支援拠点の整備

地域生活支援拠点の整備は、日進市は面的で整備済みと報告されていますが、他の市町村からは、整備出来たかどうかの判断が難しいとの意見が出ています。

各市町村の障害者自立支援協議会は、設置されてから形態があまり変わらず、リニューアルをどうしていくかが課題と感じています。

また、他の取組みとしては、緊急時の受入れとして居室確保事業、体験機会の場としてチャレンジホーム事業などを行っています。

人材の確保と育成は、研修等を行っていますが、人材の確保まではハードルが高いと感じています。

	<p>4 福祉施設から一般就労への移行</p> <p>1年間の一般就労移行者数は平成28年の1.5倍で、移行支援事業利用者数は平成28年度の1.2倍となっています。</p> <p>移行支援事業所の質と量の確保や企業側の受入れ体制の支援等を進めていきます。</p> <p>尾張東部圏域では、障害者雇用の促進を目的として、就労・生活支援センター アクト主催の交流会を開催します。</p> <p>5 障害児施設の提供体制の整備等</p> <p>児童発達支援センターの設置状況は、県内54市町村中19市町、圏域では6市町中3市が整備済みです。医療的ケア児の協議の場は、県で部会が設置され、各市町村で設置が進められています。</p> <p>6 その他</p> <p>尾張東部成年後見センターは、尾張東部権利擁護支援センターに名称が変わり、虐待対応として権利擁護支援プロジェクトの実施やスーパーバイザー派遣を進めていくので活用していただきたい。各市町の取り組みとして、災害時要配慮者や施設間の協定の検討、8050問題や移動支援事業のあり方などが話題として挙がっています。</p> <p>18歳未満の医療的ケアが必要な方が地域で移動する時に、居宅介護や重度訪問介護を利用することが出来ないため、移動支援が利用出来れば良いが各市町で利用回数や内容にばらつきがあり対応が異なるため、この事業のあり方を考えていく必要があるとの話が出ました。</p>
会 長	<p>質疑・意見を求める。</p>
委 員	<p>グループホームの世話人等確保支援事業で、県内各所で22回開催されたホームでの体験は、尾張東部圏域の市町も含まれていますか。</p> <p>精神障害者の地域生活への移行について、移行先はグループホームと一般的な住宅のどちらに重きを置いて検討されていますか。</p> <p>アクト主催の当事者の集いは、アクトに関わっていない方も参加されていますか。</p>
アドバイザー	<p>ホームでの体験は、約10事業者で実施されましたが、圏域内の事業所での開催については把握できていません。</p> <p>愛知県知的障害者福祉協会に、安城市障害者自立支援協議会が加盟していますので、同様に加盟してグループホーム説明会や体験事業を実施することは可能だと思います。</p> <p>地域生活移行先はグループホームや一般住宅は問わず、本人の希望を重視しています。</p>

委員	<p>アクト主催の当事者の集いは、一般企業に在職中と求職中の方に分けて開催しています。基本的にはアクトの登録者が対象で、今年度は在職中の方が5回、求職中の方は4回開催する予定です。</p>
委員	<p>尾張東部圏域で、地域生活拠点整備が日進市のみ整備ということですが、具体的に何をされていて、今どんな状況なのか教えてください。</p>
事務局 (センター)	<p>拠点整備はケアマネジメント部会で検討しています。専門的な人材の確保や緊急時の居場所確保等、拠点整備機能にある5項目を中心に相談支援専門員の個別ケースから課題を抽出しています。</p> <p>現在は、緊急時の受け入れとして、市の居室確保事業の活用について検討を進めています。登録事業所が少ないということから、横のつながりや連携が十分ではないため、体制強化に取り組んでいます。</p>
会長	<p>現在、何事業所が登録していますか。</p>
事務局 (センター)	<p>今年度、1事業所増え、4事業所になりました。</p> <p>今年の3月に地域福祉課主催で拠点整備の説明会を開催し、地域の約40事業所に参加を呼びかけました。宿泊設備がない事業所でも、緊急時に1泊出来るスペースがあれば可能ということで、日中活動系の事業所も対象にし、当日は13事業所の参加がありました。</p>
委員	<p>災害対策として、避難所開設や災害時要配慮者などがテーマに挙げたとのことですが、様々な障害のある方が避難所での集団生活を送ることが難しくて苦労したという話を報道で知りました。各市町からどのような話題がありましたか。</p>
アドバイザー	<p>医療的ケアが必要で機器を使用している方は、家の中で電源不通時にどうすればいいのか、家からの移動手段はどうなるのか。また、グループホームや事業所からは、各避難所に試しに移動してみるという取り組みが必要という意見がありました。</p> <p>地域の方の協力を得るために、事前に障害のある方や事業所があるということの周知が重要で、まずは自立支援協議会の各部会で防災計画を検討することが大切ではないかという話がありました。</p> <p>また、災害時の個別避難計画は、どこの市町村も進んでおらず、誰が担当して作成すべきなのかという意見もありました。</p>
委員	<p>瀬戸保健所主催の災害時を想定した対応検討会で、関係者22名が集まり避難方法について検討しました。</p> <p>現在、訪問看護で指定難病の方のお宅に訪問していますが、その方の拠点避難所は、2.2Km離れた小学校で、一旦そこに避難してから福祉避難所の開設依頼をして移動というマニュアルになっています。</p> <p>介護や障害が重度のため、介助者がいても遠方の避難場所に行けるのか、避難所生活が可能なのかを考えると難しいと思いますので、福</p>

	<p>社避難所のあり方や早期開設を日進市に取り組んでほしいと思います。また、福祉避難所の開設を同時進行で進めてほしいです。</p> <p>避難所の場所や要援助者を把握するために、地域の防災訓練に障害のある方が参加できるよう、システム作りを進めてほしい。</p>
委員	<p>市主催で、毎年順番に小学校での避難所開設訓練が実施されています。権利擁護部会で訓練に協力しており、去年は梨の木小学校、今年は香久山小学校の訓練に参加しました。今年の訓練では、知り合いの自閉症の方等のほか、車椅子や高齢の方も参加していました。</p> <p>市の災害計画も重要ですが、まずは地域の自治活動ではないかと思えます。部会で作成した災害時要支援者サポートブックの周知や避難所運営の方に目を通してもらえるよう依頼しています。</p>
会長	意見を参考に今後の課題として取り組んでください。
会長	2 議事 第 5 期日進市障害福祉計画・第 1 期日進市障害児福祉計画の評価（平成 30 年度実績）について説明を求める。
事務局 (介護福祉)	評価シートは、前回の会議で提示した成果目標及び成果指標に対する分析評価を確認していただき、提出のあった意見の追加や意見を参考に次年度の取り組み等を改善提案として記載したものととなります。
委員	<p>通所系サービスの利用者が、障害の特性による多動や他害で利用が難しくなり、施設入所された方がみえます。</p> <p>入所者の地域生活移行について、市内の施設入所者は重度の方が多いと認識しているので、実現は難しいと感じています。</p>
委員	自分の育った家で過ごしたいと思う方もみえると思います。多動や他害のある方は、行為を止めるためにかなり力が必要なので、グループホームの場合は支援員にかなり負担がかかると思います。
委員	<p>親亡き後の支援について、成年後見制度の紹介をしたいと思います。</p> <p>この制度は親亡き後に、権利擁護で契約行為や金銭管理等を本人の意思を尊重して進めていくもので、支援センターは本人が亡くなるまで寄り添う法定代理人としての活動をしています。</p> <p>個人で担う後見人は、若年の方に対する継続的な支援が難しい場合があり、法人後見が担えるのは尾張東部圏域で同センターのみということが課題として挙がっています。</p> <p>法人後見を担える団体としては、社会福祉協議会や親の会などになりますが、成年後見制度利用促進計画では、法人後見を担える機関を増やしていきたいという記述があります。</p>
会長	<p>親亡き後の課題は、今後も議論をし続ける必要があると思います。</p> <p>先程意見にもあった権利擁護に関しては、地域生活支援拠点等の整備の目標 3 の協議会委員からの提案で、親亡き後のお金の管理や支援</p>

	<p>について意見が出ています。</p> <p>今後、地域の中で何ができるか具体的に考えていく部分なので、皆さんにも協議していただけると良いと思います。</p> <p>施設の居住化という観点で、生活を向上していくという視点で考えていくことが良いのではないかとご意見がありました。</p> <p>支援者の質の向上や生活環境の向上により、地域で暮らす形に近い生活を施設でもできるようにするにはどうしていくのかが検討課題になってきます。地域移行希望者が施設入所者のうち何人いるかという質問が出ていますが、日進市は0名で良かったでしょうか。</p>
事務局 (センター)	<p>地域移行される方の大半は、精神障害のある方が精神科病院から退院しグループホームに移られています。グループホームに移りたいという地域移行は何件か実績がありますが、施設入所の方で一軒家やグループホームへの具体的な相談は上がってきていないと思います。</p>
会 長	<p>正確な数は把握されていないということだと思いますが、まずそこから始めて、個別の具体案にしていけると良いと思います。</p>
委 員	<p>地域移行希望者の対象が分かりにくいと思います。</p> <p>2年前に重度の自閉症の方が入所している施設を実習で訪れましたが、入所者は全て地元以外の方でした。</p> <p>日進市の施設から自宅に帰ることを希望している方はどういう方なのかと考えると、親が高齢で自宅に戻れない方もみえれば、通所事業所が日進市の方もみえると思うので、日進市に戻りたいという方ばかりではないと思います。実情を把握できるものでしょうか。</p>
会 長	<p>把握は難しいと思います。確かに日進市の方は日進市に移行すべきという意見はあると思いますが、施設入所の方は長く日進市に住んでいるので、地域の住民として捉えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>日進市の方だけを該当者として調査するのではなく、この地域の施設入所で実際に地域に住める力があって、もしくは本人が希望しているのであれば、そのまま生活ができることが望ましいと感じています。</p> <p>地域で区切るというよりは日進市にある施設の中で考えた方が良いのではないのでしょうか。私の意見であり、お金の面の問題も出てくるかと思うので、今後の検討課題になると思います。</p>
委 員	<p>意見を提出しましたが、反映されていない案もあるかと思っています。改善提案を見ると変化がないと感じますが、どの様に検討されたのでしょうか。来年度に事業をどう進めていくのか教えてください。</p> <p>また、各目標に対する根拠となるデータをつけていただきましたが、この数値が目標にどう関連しているのか分からないため、目標に合致する指標を出してほしい。</p>

	<p>各目標は、福祉課だけではなく他課の計画にも同じような内容が挙がっているものがあるので、動きが早く解決できそうな事業は、他の部署で進めていくことも視点に入れるといいと思います。</p> <p>目標1の概要には、グループホームや一般住宅への移行を目指していくとありますが、一般住宅等への移行の取り組みは何もされていないのではと感じています。アパートなどの一般住宅を障害のある方が借りることはハードルが高いと思います。</p> <p>国の動きとして、生活困窮者自立支援事業の居住支援事業と国交省が進めている居住支援事業があるので、障害分野だけでなく、他課の計画にも載せることで解決していくこともあると思います。</p>
事務局 (介護福祉)	<p>意見の反映については、提出意見を各担当課に伝えて検討した上で改善提案になっていますが、検討方法を考えたいと思います。</p> <p>資料の活動指標が分かりにくいという点について、計画書の各目標に関連する活動指標を載せているもので、分かりにくいということであれば、次年度に向けて検討していきます。</p> <p>また、福祉部署だけでは検討が難しいこともありますので、広く意見をいただき、総合的に進めるように考えて行きたいと思います。</p>
委員	<p>数字ではなく、評価シートの成果目標の下にある成果指標をどの項目にするのかを事務局で決めていると思いますが、この指標を変えて評価することはできないので、成果指標の根拠となる関連する活動指標を資料として揃えていただければと思います。</p>
会長	<p>目標の達成状況は数だけでは示されないと思いますので、今後どこかの場で検討をお願いします。</p>
委員	<p>地域移行希望者がいないのは、ほっとする半面それでいいのかと思う部分もあります。成果指標2の施設入所支援の利用者数は、入所施設の利用を進めた人数ですか。</p>
事務局 (介護福祉)	<p>計画作成時の20名から令和2年度の目標値19名となっているので、施設入所者の中から1名を地域移行させたいという目標数値です。</p>
委員	<p>施設入所支援というのは、入所施設の利用実績があった人数ということでしょうか。</p>
事務局 (介護福祉)	<p>施設入所支援のサービス給付人数で、住所地特例の方も含みます。</p>
会長	<p>本協議会の意見を全て市で対応し、解決するのは難しいと思いますので、ここは誰ができるか、地域の中で使える社会資源は何があるかななどを話し合う場が持てると良いと感じています。</p> <p>次回、できればグループワークをして、協議会の意見を具体的に皆さんで協議したいと思います。</p>

委員	他の計画との連携についての意見ですが、市の地域福祉計画の見直しの検討が行われていますが、地域包括ケアが地域福祉全体の方向性になっているので、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築についても計画の中に明記していただくことを提案します。
事務局 (地域福祉)	会議で検討させていただきます。
会長	精神障害のある方の地域包括ケアシステムは始まったばかりなので、概要を理解していない方も多いかと思います。次回は参考資料を持ってきていただけると良いと思います。
会長	福祉施設から一般就労への移行促進等、社会資源の質的向上、社会資源の充実から質疑・意見を求める。
委員	目標 4 の就労・生活総合支援コーディネーター事業が始まっています。主に生活支援を担っているとなっていますが、障害者の雇用や就労に関してどのように進めていくのか教えてください。 また、ハローワークのシステムで、オンラインでの求職情報提供サービスがありますが、日進市の状況を教えてください。是非、導入して、同事業でこのシステムを活用してほしいと思います。
事務局 (センター)	この事業が始まる前から、センターの自主事業で就労支援は行っており、受託後は一般就労だけでなく福祉的就労を目指す方も含めて就労と生活の支援を行っています。 オンラインについては、活用は進んでいません。
委員	このシステムはハローワークに出向かなくてもハローワークと同じ情報が持てるので、システムをそっくりそのまま導入するのはどうかということでしたが、検討はどうなっていますか。
事務局 (センター)	一般就労を目指す方は、ハローワークやアクトでつながる方が多く、センターへの相談は少ないため、活用はできていない状況です。
委員	目標 5 について、障害児である前に子どもなので、日進市未来をつくる子ども条例に記載されていることが守られる街にするために、当事者の親向けの研修が必要だと思います。
委員	目標 1 成果指標②施設入所支援の利用者数ですが、ショートステイ利用なのか、施設入所なのか、23 名の内訳は。
事務局 (介護福祉)	施設入所サービスの施設入所支援利用者数で、ショートステイは含まれず、リハビリ利用の方も除いています。国の指針で決められている、各年度の 3 月末時点の人数を挙げています。日進市が支給決定している方なので、市外の施設入所者も含みます。 計画上に指針の明記がないため、次期の計画策定時には施設入所者数の設定や、何パーセント減などの記載を検討したいと思います。

会 長	社会資源についての質疑・意見を求める。
委 員	<p>親亡き後に困らないよう社会資源を増やすことが必要で、学校を卒業した方の日中活動の場や特に身体障害のある方のグループホームがないと思います。</p> <p>共生型サービスという言葉が出てきていて、高齢の方も障害の方も一緒にサービスを利用するという話もあるが、65歳以上の方が利用するサービスに、18歳の方が受けられるサービスがあるのか分からないなど不安があります。</p> <p>親亡き後の不安は以前からずっと抱えており、親が高齢なのに重度の身体の方を全介助で見なければいけないという不安で生活している方もいます。今後も増えてくると思うので、地域生活支援拠点の整備をしながら社会資源を増やせるような話し合いの場や手を差し伸べられる方法が具体的に目に見えると安心します。社会資源の質もですが、場所も増やしていけると良いと思います。</p> <p>また、高齢サービスを利用しようとする、障害者は障害年金でしか生活していけないので高額負担の不安もあります。</p>
委 員	<p>共生型サービスでも収入に応じて利用者負担が決まっているので、現状と変わらないと思います。</p> <p>自閉症で走り回る方と杖の必要な高齢の方が一緒だと転倒事故も頻発すると思いますが、共生型サービスは必要だと考えています。</p> <p>例えば、重度の身体障害の方がみえる高齢者のデイサービスには、お風呂やトイレの機能が充実しているところがあります。</p> <p>社会資源で確保が厳しいのは人だと感じており、最近ボランティア希望者が少なくなったと感じています。事業所の祭りでもなかなか人が集まらず、重度の障害のある方はコミュニケーションが難しいため敬遠され、グループホームの夜間の世話人も見つけにくいと思います。</p> <p>名古屋市のある法人が行った世話人養成研修に参加者がそれなりにあったという話を聞きましたので、日進市でも世話人講座ができると思います。</p>
会 長	<p>世話人講座は是非開催する方向でお願いします。</p> <p>権利擁護の浸透、障害の早期発見と早期対応の体制整備、障害児支援の提供体制の整備等から質疑・意見を求める。</p>
委 員	<p>目標 6 の合理的配慮に関するパンフレットの作成と市民への啓発について、まだやっていなければ中学校への配布をお願いしたいと思います。</p> <p>目標 8 の方策に保健センターの記述がないので、障害の早期発見という観点から健診、保健センターとの連携、子育て支援センターや保</p>

	健センターの役割等の記述も必要ではないかと思ひます。
事務局 (地域福祉)	合理的配慮のパフレットは平成 27 年度に作成しており、その時の配布先の資料が手元になひので、当時中学校に配布していたか確認の上で学校と調整させていただきたいと思ひます。
事務局 (こども)	今回の計画には保健センター等の連携について記載されておひりませんので、次期計画には挙げてきたいと思ひます。
委員	目標 7 福祉有償運送の利用実績とボランティアドライバーの登録人数を教えてください。
事務局 (地域福祉)	福祉有償運送の実績は、障害と高齢を分けた報告はいただひていないため全体数となりますが、平成 30 年度末実績として、市内 3 事業所合わせて 708 回の利用がありました。また、ドライバーの登録数は、3 事業所合わせて 47 名登録されています。 今年度はドライバー養成講座を 10 月に行ひ、各事業所から資格を持っていない方も受講いただいたので人数は増えていると思ひます。
委員	居室確保事業では、日進市から 1 泊目 15,000 円、2 から 3 泊目まで 10,000 円助成があります。助成金で足りない人件費は施設の持ち出しになるので、一定の基準を設けて利用者から負担金を取ることも考えても良いと感じています。
会長	この事業は、多くの方が利用される事業ではないため、必要な最低経費を出すという考え方もあるかも知れません。
委員	視覚障害者の外出支援のボランティアをしています。要介護ではないため、施設入所ができず困っている方もいます。どうすれば入所できるか教えてください。
会長	65 歳以上であればサービス付き高齢者住宅などを活用していくことになると思ひます。経済的に困っていれば、生活困窮の担当課に個別に相談をお願いします。
委員	市で総合計画を作っていますが、総合計画の障害の部分に関して自立支援協議会で検討ができるのか教えてください。
事務局 (地域福祉)	第 6 次総合計画の作成が進んでいますが、具体的なスケジュール等は示されていないため、障害分野についての内容はこれからの検討になります。 男女平等推進は総合計画の記載について審議会の中で議論するという話を受けてのご提案だと思ひますので、介護福祉課と地域福祉課で計画をどういったものにするか、記述する段階で検討させていただくことになると思ひます。
委員	育成会で活動した 20 年以上前は当事者意見を集める場所があったが、今は意見集約が難しい時代になり、大きな課題だと感じています。

	<p>親亡き後の心配は、今後の利用者の生活の切実な問題だと思います。 このことについてもう少し議論するべきで、親や関連する人が早い段階で意識を持つという意味で、教育委員会や障害のある子の母親との意見交換ができると良いと思います。</p>
会 長	<p>全体を通して質疑・意見を求めるもなく、閉会を宣す。</p>